

## 7.牛の肝臓

機 関 名：豊橋市食肉衛生検査所  
動 物 名：牛 品種：黒毛和種 性別：雌 年齢：129ヶ月齢  
病 歴：特になし

生 体 所 見：特になし

内 臓 所 見：肝臓方形葉に 28cm×25cm×18cm の淡赤色腫瘍を認めた。腫瘍は横隔面に隆起し、表面は結合組織で覆われていた。断面は不規則分胞状に区画され、肝臓実質との境界は明瞭であった。一部出血壊死、凝固壊死を認め、石灰化もみられた。

他臓器には腎炎、縦隔リンパ節に壊死がみられたが肝リンパ節を含み腫瘍性病変は認めなかった。

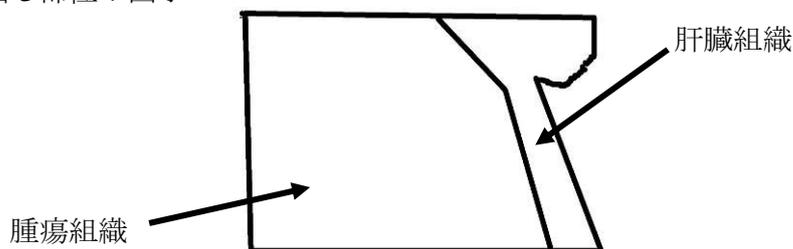
組 織 所 見：腫瘍組織は周囲の肝臓組織とは明瞭な結合組織で区画されていた。腫瘍細胞は1～3個の細胞からなる細い索状に配列し類洞様の血管を伴っていたが、小葉構造、肝三つ組み構造は認めなかった。腫瘍組織内に好酸性物質を容れた囊胞を認めた。

腫瘍細胞は肝細胞に類似した細胞で、好酸性で微細顆粒状の細胞質を持ち、脂肪滴を持つものを多く認めた。核は淡明で、好酸性の核小体を持っており、類円形から多角形と異型性を示し、大小不同も認めた。核分裂像を高頻度に認めた。

肝リンパ節には組織学的にも転移を認めなかった。

固 定 方 法：10%中性緩衝ホルマリン液

切り出し部位：図示



行 政 処 分：全部廃棄  
組 織 診 断 名：肝細胞癌  
疾 病 診 断 名：肝細胞癌